

付 録

大 牟 田 市 の あ ゆ み

古 代

景行天皇高田行宮にこられたとき、歴木の巨木があったのにちなみ「御木の国」と言われるようになった(「日本書紀」より)

平 安 時 代

9世紀初期 三毛中納言源師親が普光寺を建立したと伝えられる
10世紀初期 三毛師方が宮原天満宮を建立したと伝えられる

鎌 倉 時 代

12世紀末 今山岳の活動により三つの池出現、三池と言われるようになったと伝えられる

室 町 時 代

文明元年 1469 伝治左衛門という農民が山中でたき火中、燃える石(石炭)を発見
天正15年 1587 豊臣秀吉より高橋直次に三池郡内1万8千石を賜る
慶長5年 1600 高橋直次は三池郡領地を没収される

江 戸 時 代

元和7年 1621 立花種次三池郡1万石を所領する
寛文4年 1664 平塚喜右衛門が早鐘山の谷に堤を築く
延宝2年 1674 三池藩が大牟田川に眼鏡橋をかける
享保6年 1721 柳河藩家老小野春信、平野鷹取山の地を賜り同年11月ここで石炭の採掘を始める
寛政2年 1790 三池藩が石山法度を布告
4年 1792 温泉岳(雲仙岳)爆発
享和3年 1803 立花内膳、吉ヶ谷の大堤を築く
文化3年 1806 立花氏下手渡(現福島県伊達市)に領地を移される
8年 1811 伊能忠敬一行三池郡地方を測量
嘉永4年 1851 立花氏に三池郡の領地5千石がもどされる
6年 1853 三池藩で生山を開坑
安政4年 1857 生山、平野山両坑の境界争いはじまる明治5年に再度争い起こり三池郡中止を命じる
" " 大浦坑開坑、大正15年閉鎖

明 治 時 代

明治2年 1869 立花種恭、三池藩知事に命じられる
4年 1871 三池藩士族が石炭採掘を願い出る
" " 三池藩三池県となり同年11月久留米、柳河、三池の三県を廃して三池県となる
6年 1873 炭坑一円が官山となる
" " 三池県囚徒を三池炭山に初めて働かせる
" " 天梁、御木、咸休等の小学校が設立される
" " 三池取扱所開設(現三池郵便局)

7年 1874 大牟田郵便局設立
8年 1875 梅谷坑口付近に初めてコークス炉が設立される
9年 1876 志賀翼軒が銀水義塾を建て九州各地の子弟を教育、後伝習館分校を経、銀水高等小学校となる
" " 三池県を廃し福岡県に合併
10年 1877 浜田又平熊本県から来て小浜の干拓に従事、明治14年に完成
" " 石炭搬出のため大牟田川河口の航路拡大に着手
11年 1878 大浦坑、大牟田川河口間の馬車鉄道完成
16年 1883 七浦坑操業開始、明治30年廃坑
" " 三池集治監設置、のち三池監獄を経て三池刑務所と改称され、昭和6年廃止
17年 1884 三池鉱山本局、七浦間に初めて電話開通
19年 1886 地元金融機関として初めて三池銀行を江浦村に設立(現三井住友銀行大牟田支店)
20年 1887 地元初の会社として三池土木会社設立
" " 宮浦坑が出炭操業開始
22年 1889 政府から炭山の営業権一切の引き渡しを終わり三池炭鉱社名で営業開始
" " 町制実施、大牟田町、三池町ができる
" " 三池紡績会社設立、九州紡績と改称後鐘紡に合併、昭和17年廃止
24年 1891 九州鉄道(株)久留米、高瀬間開通、大牟田駅開設
" " 宮浦、横須浜間専用鉄道敷設
27年 1894 三池初めての発電所・七浦発電所新設坑外に初めて電灯がとる
29年 1896 郡制施行、三池郡大牟田町となる
" " 勝立坑操業開始、昭和3年廃止
31年 1898 宮原坑操業開始、昭和6年廃止
" " 直轄坑夫を募集
35年 1902 三池港起工
" " 万田坑操業開始、昭和26年廃止
36年 1903 大牟田郵便局で電話交換事務が開始
41年 1908 三池港竣工、開港場に指定される
42年 1909 三池港開門完成、長崎税関三池支署開所
45年 1912 わが国初の副産物回収コッパーズ炉操業開始、同年4月、ガス、タール工場運転開始、三井化学工業(株)の基礎が確立
" " 港務所と万田間専用鉄道が電化される

大 正 時 代

大正3年 1914 三池製煉所が亜鉛製煉操業開始
5年 1916 電気化学大牟田工場建設操業開始

6年	1917	市制施行	25年	1950	市立病院が不知火町に新築落成
7年	1918	万田坑に暴動事件が起こり、各坑に罷業続出、軍隊の出動となる	27年	1952	市内電車が廃止
10年	1921	市上水道市内一部に通水開始	〃	〃	2 か月におよぶ炭労の無期限ストライキ始まる
11年	1922	市上水道通水式が笹林公園で挙行	28年	1953	国営三池干拓建設事業起工、42年9月完工
12年	1923	四山坑出炭開始	〃	〃	人工島初島大牟田市編入
13年	1924	製作所中心に労働争議が起こる	29年	1954	市民会館落成
〃	〃	宮浦大斜坑で出炭開始	30年	1955	健老町地先埋立地大牟田市編入
15年	1926	市制10年記念国産共進会開催	31年	1956	市立動物園誕生
〃	〃	銀水駅開設	32年	1957	延命プール完成
昭 和 時 代			〃	〃	市制40周年記念事業として大牟田産業科学大博覧会開催
昭和2年	1927	大牟田電気軌道、旭町ー四山間竣工	33年	1958	市体育館が完成
4年	1929	大牟田駅ー三池町間に初めてバス開通	34年	1959	三井鉱山の企業合理化の一端として製作所が(株)三井三池製作所として独立
〃	〃	三川町を市に編入	35年	1960	三池炭鉱の企業合理化をめぐり、10か月におよぶ、史上最大の争議が始まる
〃	〃	記念グラウンド(天皇即位の御大典記念)完成	〃	〃	本浜田町地先埋立地大牟田市に編入、西新町と呼称する
5年	1930	坑内請負制度廃止、女子坑内夫の入坑禁止	〃	〃	九州電力新港発電所運転開始
〃	〃	囚人の採炭作業や馬匹使役を廃止	36年	1961	東洋高圧大牟田工業所にテキサコ式ガス発生炉建設、ガス源がコークスから原油に切り換えられる
6年	1931	三池窒素工業(株)を設立、合成硫酸製造開始、同12年東洋高圧と合併	37年	1962	本市が「産炭地域振興臨時措置法」に基づく6条地域に指定される
7年	1932	大牟田港県費支弁港湾に指定	〃	〃	交通安全都市宣言
〃	〃	大牟田商工会議所設立	〃	〃	産炭地振興初の企業として三池コークス(株)設立、40年大牟田工場完成
9年	1934	腸チフス流行(患者582人)	38年	1963	国立有明工業高等専門学校開校
10年	1935	東洋高圧大牟田工場竣工、硫酸製造開始。同25年から尿素製造を始める	〃	〃	11月9日三川鉱炭じん爆発により大災害が起こり死者458人、日本炭鉱史上第2の重大事故となる
11年	1936	大牟田市役所が新築落成	39年	1964	市財政危機により「地方財政再建促進特別措置法」の準用指定をうける
12年	1937	爆発赤痢発生(患者約12,000人、死者712人)	〃	〃	新産業都市に正式指定される
13年	1938	九州鉄道(株)の電車、栄町まで開通、翌年7月大牟田駅まで延長される	〃	〃	暴力追放都市宣言
15年	1940	わが国初の石油合成法による人造石油生産に成功、三井化学移管後同18年三池石油合成(株)設立にともない生産継続	〃	〃	「ばい煙規制法」が適用される
〃	〃	三川坑で採炭開始	〃	〃	農村有線放送電話事業開始、昭和50年廃止
16年	1941	玉川村、駛馬町、三池町、銀水村を市に編入	40年	1965	第2人工島に四山鉱坑口移転
〃	〃	東洋軽金属(株)設立、終戦とともに操業中止	〃	〃	三池工業高等学校、全国高等学校野球選手権大会で初優勝
17年	1942	全市大水害に襲われる	41年	1966	三池港線道路、白金立体交差建設工事着手、同43年4月完成
〃	〃	市立図書館、有明町に開館	〃	〃	白金区画整理完了、千代町誕生
18年	1943	大牟田市消防署設立	42年	1967	大浦焼却場から飛火、異常乾燥で2日間の山火事
19年	1944	工場地帯が空襲をうける	〃	〃	大牟田川から水銀反応あらわれる
20年	1945	市内中心地、工業地帯が空襲のため甚大な被害をうける	43年	1968	三井アルミニウム工業(株)設立、大牟田、荒尾地区へ進出決定
21年	1946	三池合成工業(株)設立、人造石油製造から各種化学製品製造に転換、昭和37年三井化学と合併	〃	〃	上水道の延命配水池完成
22年	1947	港第二発電所運転開始			
23年	1948	大牟田警察署、自治体警察となり、29年、県警察にもどる			
24年	1949	県立保健所市に移管、市保健所が設立			

43年	1968	東洋高压と三井化学合併
44年	1969	西鉄新栄町駅および商店街建設始まる
45年	1970	第3人工島三池島完成
46年	1971	三池港三井の私港から県管理港へ
〃	〃	有明広域市町村圏(2市5町)スタート
48年	1973	し尿紛争起き、市直営化の方向で解決
49年	1974	市民体育館オープン、全国高等学校総合体育大会行われる
50年	1975	大牟田高等学校、全国高等学校駅伝大会で初優勝
51年	1976	大牟田高等学校、全国高等学校駅伝大会で2連勝
52年	1977	市制施行60周年を迎える
53年	1978	大牟田港泊地埋め立て着工、昭和56年完成
55年	1980	大牟田市再開発市民会議結成
56年	1981	大牟田市・大同市友好都市締結
57年	1982	水道庁舎完成
〃	〃	養護老人ホーム吉野園完成
〃	〃	市制施行65周年を迎える
〃	〃	大牟田市民憲章制定
〃	〃	(株)九州精密機器(電気関係プラスチック成形工場)操業開始
〃	〃	雇用開発センター発足
〃	〃	大牟田・荒尾両市の境界問題円満解決(9月境界線確定訴訟取り下げ)
〃	〃	全日本大学ソフトボール選手権大会開かれる
58年	1983	市の木「くぬぎ」、市の花「やぶつばき」に決まる
〃	〃	大牟田小学校開校(笹林・不知火小学校統合)
〃	〃	三井石炭自家発電所(6月から営業開始)
〃	〃	市民憲章碑完成
〃	〃	福祉の森完成
59年	1984	1月18日、有明鉱坑内火災により死者83人
〃	〃	羽山台小学校開校
〃	〃	新葬斎場完成
〃	〃	歴史資料館オープン
〃	〃	勤労身体障害者教養文化体育施設、サン・アビリティーズおおむたオープン
60年	1985	大牟田・荒尾清掃施設組合設立
〃	〃	総合福祉センターオープン
〃	〃	大牟田市友好代表団中国各都市を訪問
61年	1986	甘木配水池完成
〃	〃	大牟田文化会館開館
〃	〃	「地方都市中心市街地活性化計画」のパイロットモデル都市の認定を受ける
〃	〃	大同市歌舞団公演

61年	1986	第八次石炭政策答申
〃	〃	コミュニティマート構想モデル事業地域の指定を受ける
62年	1987	九州帝京短期大学開校
〃	〃	有明ニューメディア・サービス(株)設立(現有明ねっとこむ)
〃	〃	市制施行70周年を迎える
〃	〃	有明沿岸サミット開催
63年	1988	新開クリーンセンター完成
〃	〃	消防署明治町出張所開設
〃	〃	大宝工業操業開始
〃	〃	吉野地区公民館オープン
〃	〃	大牟田高等学校駅伝部全国大会優勝

平成時代

平成元年	1989	物流センター建設用地決まる
〃	〃	(株)ネイブルランド設立
〃	〃	市民栄誉賞創設、第1号大牟田高校駅伝部へ
〃	〃	日仏アメニティー地方会議
〃	〃	市民憲章運動推進第24回全国大会開催
2年	1990	スポーツ都市宣言
〃	〃	とびうめ国体開催(ボクシング・ソフトボール)
〃	〃	J R大牟田連絡橋完成
3年	1991	J R吉野駅開業
〃	〃	カルタックスおおむたオープン
〃	〃	大型台風17、19号来襲、大被害でる
〃	〃	大牟田市、大同市友好都市締結10周年大同市歌舞団公演、大同市写真工芸美術展開催
〃	〃	大牟田高等学校駅伝部全国大会優勝
4年	1992	中央公民館オープン
〃	〃	動物園新装オープン
〃	〃	新栄町C・I事業第一期工事竣工
〃	〃	「大牟田大使」任命
〃	〃	大牟田市民憲章制定10周年記念大会開催
5年	1993	大牟田駅東口駐車場・自転車等駐車場完成
〃	〃	観光プラザオープン
〃	〃	バイオファクトリーオープン
〃	〃	炭鉱における安全と機械化に関する国連シンポジウム開催
〃	〃	手鎌地区公民館オープン
〃	〃	白川七社宅跡地から古墳時代の低地遺跡を発掘
〃	〃	柔道の園田選手に市民栄誉賞
6年	1994	市庁舎北別館完成
〃	〃	新栄町C・I事業第二期工事(商店街活性化策定事業)竣工

6年	1994	諏訪公園オープン	13年	2001	「ゆめタウン大牟田」オープン
〃	〃	大牟田市ごみ散乱防止条例施行	〃	〃	九州新幹線・有明海沿岸道路工事着工
〃	〃	大牟田市・マスキーガン郡・市姉妹都市締結	〃	〃	「大牟田市第三次総合計画後期基本計画」策定
〃	〃	駛馬地区公民館オープン	14年	2002	環境基本条例制定
7年	1995	訪問看護ステーション開始	〃	〃	三川地区公民館(新築移転)オープン
〃	〃	第3大浦谷埋立地完成	〃	〃	平日夜間小児当番医を開設
〃	〃	大牟田市立総合病院オープン	〃	〃	帝京大学医療専門学校開校
〃	〃	主要地方道南関・手鎌線開通	〃	〃	「有明海沿岸道路 大牟田・高田区間」工事起工
〃	〃	ネイブルランドオープン(平成10年閉園)	〃	〃	大牟田エコサンクセンターオープン
〃	〃	石炭産業科学館オープン	〃	〃	大牟田・荒尾RDFセンター稼働
〃	〃	大牟田市・ノースマスキーガン市姉妹都市締結	〃	〃	大牟田リサイクル発電所稼働
〃	〃	戦後50年、核兵器廃絶平和都市宣言10周年記念平和モニュメント建立	15年	2003	東部環境センター稼働
8年	1996	秋篠宮殿下・妃殿下本市を視察(ネイブルランド・石炭産業科学館)	〃	〃	勝立配水池通水
〃	〃	三池炭鉱の維持存続と産炭地域振興を求める市町民総決起集会開催	〃	〃	リサイクルプラザ稼働
〃	〃	大牟田・マスキーガン友好協会設立	〃	〃	ありあけ新世高等学校開校
〃	〃	第47回福岡県植樹祭が諏訪公園で開催	〃	〃	三池じん肺補償問題、未提訴患者と和解、全面解決
〃	〃	中国・大同市との友好都市締結15周年	〃	〃	構造改革特別区域に「環境創造新産業特区」認定
〃	〃	第8回全国生涯学習フェスティバル開催	〃	〃	産業再生機構は、三井鉱山支援を決定
〃	〃	宮浦石炭記念公園オープン	16年	2004	九州新幹線「三池トンネル」貫通
〃	〃	内陸型大型工業団地・大牟田テクノパーク起工	〃	〃	「松屋」経営再建断念
9年	1997	三池炭鉱閉山	〃	〃	市民憲章運動推進全国大会を大牟田で開催
〃	〃	昭和アルミニウム缶(株)大牟田工場完成	〃	〃	第19回国民文化祭(とびうめ国文祭)の「遊学、交流カルタの世界」開催
〃	〃	市制施行80周年を迎える	17年	2005	大牟田初の4年生大学「帝京大学福岡医療技術学部」開校
〃	〃	イメージソング、市の木・市の花のデザインを決定	〃	〃	「新総合計画2006～2015基本構想」策定
10年	1998	行政連絡員制度発足(平成15年度まで)	〃	〃	県立高校(大牟田南・三池農業・大牟田商業)閉校
〃	〃	資源物リサイクル全校区で開始	〃	〃	大牟田市庁舎旧館が国の登録文化財となる
〃	〃	障害者生活支援センター開所	18年	2006	「子ども見守り隊」の活動連絡協議会発足
〃	〃	宮原坑施設、万田坑施設、国の重要文化財に指定	〃	〃	みなと小学校開校(三川・三里小学校統合)
11年	1999	(株)大牟田リサイクル発電設立	〃	〃	三池港と釜山港を結ぶ初の海外定期航路就航
〃	〃	大牟田市公式ホームページ開設	〃	〃	「近代化遺産保存活用基金」を設置
〃	〃	リフレスおおむたオープン	19年	2007	市制施行90周年を迎える
12年	2000	宮原坑跡、万田坑跡、国の史跡に指定	〃	〃	大牟田高校野球部、春の甲子園選抜大会出場
〃	〃	大牟田高校駅伝部全国大会優勝	〃	〃	「はやめ人情ネットワーク」が地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰を受賞
〃	〃	大牟田川から高濃度のダイオキシン検出	〃	〃	暴力団追放へ市議会決議と市民総決起大会の開催
〃	〃	有明海沿岸道路起工	20年	2008	地域高規格道路「有明海沿岸道路」大牟田・大川間が部分開通
〃	〃	南部浄化センター稼働	〃	〃	三池港開港100周年記念事業が大盛況
〃	〃	道の駅「おおむた」オープン			
〃	〃	戸籍事務のコンピューター化			
13年	2001	有明海ノリ等不作不漁問題			
〃	〃	大牟田エコタウン事業建設着工			

付 録

20年	2008	宮原坑跡を含む「九州・山口の近代化産業遺産群」が世界遺産国内候補地リスト入り
〃	〃	大牟田市財政健全化計画を公表
21年	2009	「大牟田市安心安全ステーション」開設
〃	〃	三池炭鉱関連施設が世界遺産登録のあらたな構成遺産に
〃	〃	有明沿岸道路の矢部川大橋区間開通
〃	〃	定住自立圏構想で中心市宣言
22年	2010	地方独立行政法人「大牟田市立病院」スタート
〃	〃	天領小学校開校(諏訪・川尻小学校統合)
〃	〃	柳川、みやま両市と定住自立圏形成協定締結
〃	〃	「三池の大蛇山」を市無形民俗文化財に指定
23年	2011	東日本大震災が発生し、市内一円でさまざまな支援活動を展開
〃	〃	九州新幹線新大牟田駅開業
〃	〃	イオンモール大牟田開業
〃	〃	三池港、航路浚渫工事完了・取扱量も過去最高を記録
〃	〃	帝京大学が3学科新設・ネイブルランド跡地への新キャンパス建設を発表
24年	2012	「有明沿岸道路」大牟田・三池港間開通
〃	〃	ありあけ浄水場通水開始
〃	〃	長溝線の立体交差区間が開通
〃	〃	三川坑跡、閉山後初の一般公開

